

平成 27 年度 教員免許状更新講習
アンケート集計結果
(8月27日 兵庫教育大学)

【受講者について】

- 学校種別では、小学校、中学校、高等学校からそれぞれ 13～31%の回答を得た。最も多かったのは特別支援学校からの参加で全体の 35%を占めた。

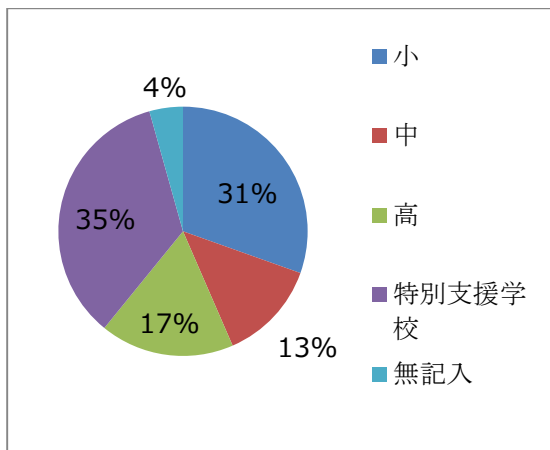


図-1 受講者の所属学校種

中学校		高等学校	
担当教科	人数	担当教科	人数
社会	3	地歴・公民	3
国語	1	工業	1
合計	4	合計	4

図-2 受講者の担当教科

【今度、受けてみたい講習内容（複数回答）】

- 「防災学習（地震）」への希望が特に高い。また、資源再生学習への希望も高くなっている。

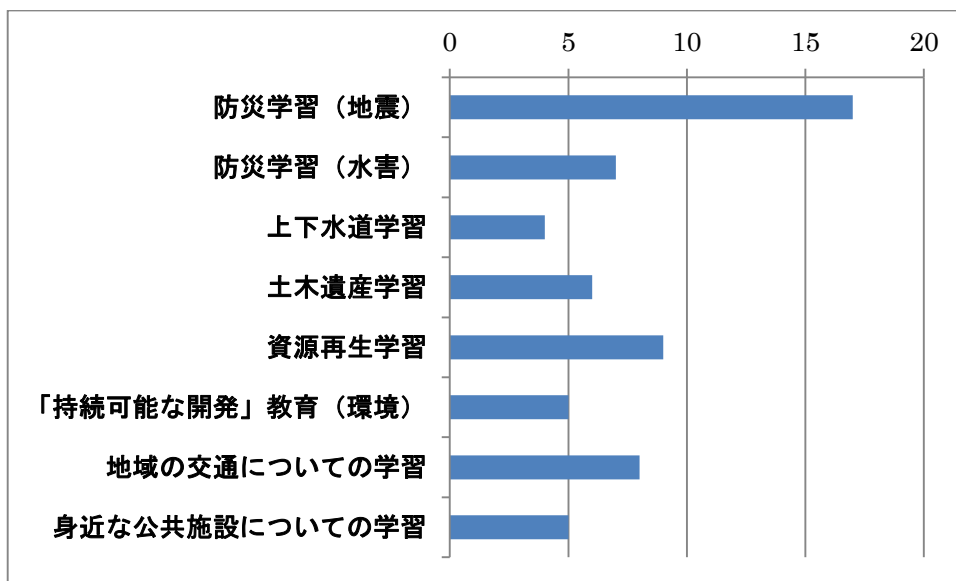


図-3 今後、受けてみたい講習内容

【講習内容で評価できること（理解できたことなど）】

- ふだん生活している町が視点を定めて改めて見ると実によく考えてあることに気づきおどろいた。又、グループで考えを出しあうので多様な考えがわかり有意義であったのしかった
- まちづくり（デザイン）によって楽しいコミュニティができたり安心安全なまちができることがわかって良かった
- 講義のちに現場のまちあるきという流れがよかった。ただ見て、歩くだけよりも身によくついたと思う。新しい所にも興味をもてた。
- 大変、わかりやすく、まちの見方（多様な視点）があることがわかりよかった。
- 自分以外の人の立場に立って町を見直すと様々な点から問題点や配慮すべき事の必要性がわかりました。
- 机上だけの講習ではなく、フィールドワークがあり、体験しながら理解することができた。
- 主体的に取り組めた点。歩いて見てまわる時間も丁度よかったです。
- 自分達の発表についての的確にアドバイスをいただけたこと。学生さんがついてくださり、色々協力していただけたこと。
- 街作りの仕組みや公共施設についての機能を学ぶことができた。
- 焦点をしばって考えることができ、街あるきが充実していた。説明も簡潔でわかりやすかった。
- 地域調査における土木（まちづくり）の視点がわかり良かった。
- 少々マニアックな模型づくりがとても楽しく、良い経験になりました。
- ニュータウンの現状と問題点。
- 視点をもってまちを見直すことで、まちのよさと課題、“こんなふうにしていきたい”という思いを子どもたちに持たせることができるということが実感できる実地講習で大変よかったです。
- 地域社会を再考させていただけました。
- テーマを持ってまちあるきができ、それを形に表せたこと。
- 説明のあと実際に現地に行き確認された。提案という形で模型をつくったことは理解しやすかった。
- 実際のまちを歩いたことで、まちについての理解ができた。たくさん準備がされていた。学生さんの存在もまちあるきには大きかった。
- 土木学会の方が、くらしや町づくりに携わっておられることを知りました。
- 工学部土木学科って何してるの？ どんどこに就職するの？ と思っていたけど、少しわかった気がします。学生さんが随時アドバイスしてくれたのが、とてもわかりやすかったです。
- 模型作り。
- まちあるきの視点。事後学習の持ち方。
- まちづくり（道路計画や道幅、袋路の意義）について理解が深まりました。

【内容で改善すべきこと（わかりにくかったこと）】

- 最初にもけいづくりについて、こんな視点でもけいを作りますといわれたかもしれませんが、よくわからなかったです。
- 児童や生徒への授業での大切なこと……テストの設問……よくわからなかった。
- ジオラマづくりの時、もう少し明るい色の紙が欲しかった。あとは、一般的なのりもあればよりやりやすかった。
- 模型づくりが、もう少し時間があればよかった。
- 町歩きの時間が限られていたので、あまり細かいところまでじっくり見ることができなかったことと、他の場所との比較ができなかったこと。
- 1人1つずつの模型づくりでも良かったと思う（でもたのしかったです）。
- どう小学生に生かしていこうか……。
- バリアフリーで人との協力でバリアーにもなるならない面については、写真等で実物をたくさん示してほしかった。
- まちあるきの体制（学生だけでなく、よくその“まち”を理解した人も一緒に出来れば……）。
- テーマ（あるいて楽しいまち）が難しく、まちあるきしながらなかなか問題を見つけにくかった。
- 模型づくりに時間がとられ、班でもっと改善点についての話し合いの時間がとれて、意見交換ができるとさらによいと思います。ありがとうございました。

（特になし4，無記入8）